

# 2008年3月期 中間決算説明会



**ダイセル化学工業株式会社**  
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2007年11月 6日

# 目次

---

2008年3月期 中間期実績	P3～P9
業績概要	P3
連結損益計算書	P4
売上高・営業利益分析	P5
セグメント情報	P6～P9
2008年3月期見通し	P10～P25
業績見通し	P10～P11
売上高・営業利益の推移と見通し	P12
売上高・営業利益分析	P13
セグメント情報	P14～P21
設備投資額推移	P22
主な設備投資計画	P23
減価償却費推移	P24
研究開発費推移	P25
連結貸借対照表	P26
総資産・有利子負債推移	P27
ROA推移	P28
中期計画について	P29
予測に関する注意事項	P30

# 業績概要

(単位:億円)

	前年中間期	当中間期	増減	増減率
売上高	1,836	2,015	+178	+9.7%
営業利益	177	161	△16	△9.1%
経常利益	161	148	△12	△7.7%
当期純利益	80	69	△12	△14.5%
為替レート	116円	120円		

# 連結損益計算書

単位：億円

	前年中間期	当中間期	増減	備 考
売上高	1,836	2,015	+178	為替による影響 +29
売上総利益	453	441	△ 11	
販売費及び 一般管理費	275	280	+5	
営業利益	177	161	△ 16	為替による影響 +8、償却制度変更による影響 △10
営業外損益	△ 17	△ 13	+4	
経常利益	161	148	△ 12	
特別損益	△ 7	△ 9	△ 2	
税金等調整前 当期純利益	153	140	△ 14	
法人税等、 少数株主利益	73	71	△ 2	
当期純利益	80	69	△ 12	
為替	116円	120円		

# 売上高・営業利益分析

## 【売上高】

単位：億円

	前年中間期	当中間期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	306	348	+42	+3	+39
有機合成	456	481	+25	△18	+43
合成樹脂	788	853	+65	+21	+43
火工品	256	300	+44	+51	△7
その他	30	33	+2	+2	-
合 計	1,836	2,015	+178	+60	+119

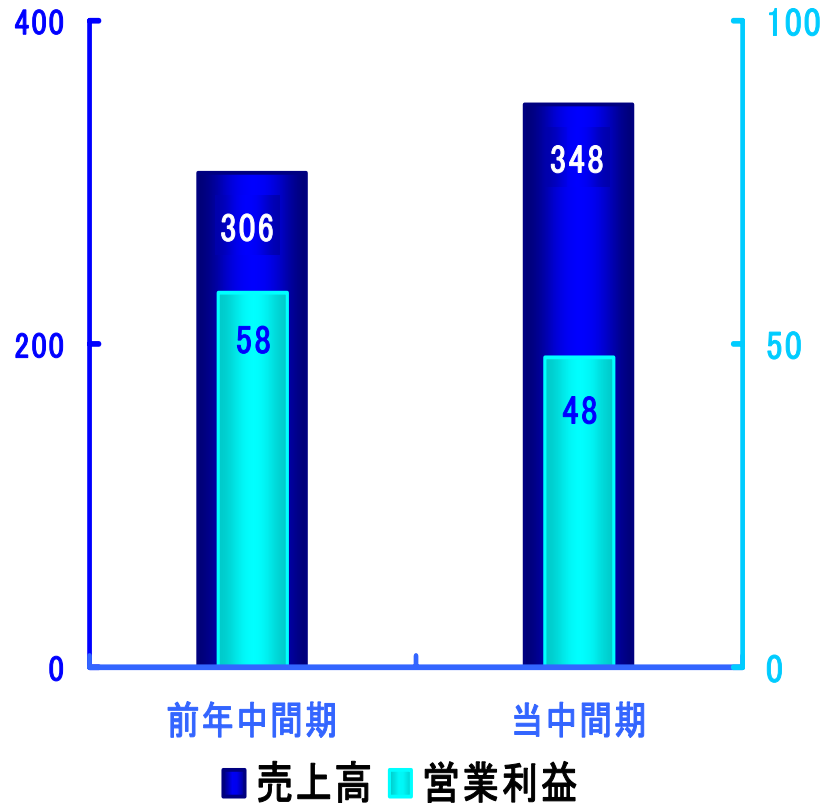
## 【営業利益】

単位：億円

	前年中間期	当中間期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	58	48	△10	△6	△1	△2
有機合成	46	49	+2	△7	+24	△14
合成樹脂	78	75	△3	+2	△5	+1
火工品	30	25	△5	+18	△8	△15
その他	4	3	△1	△1	-	-
全 社	△39	△39	+0	-	-	+0
合 計	177	161	△16	+5	+9	△30

# セルロース事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

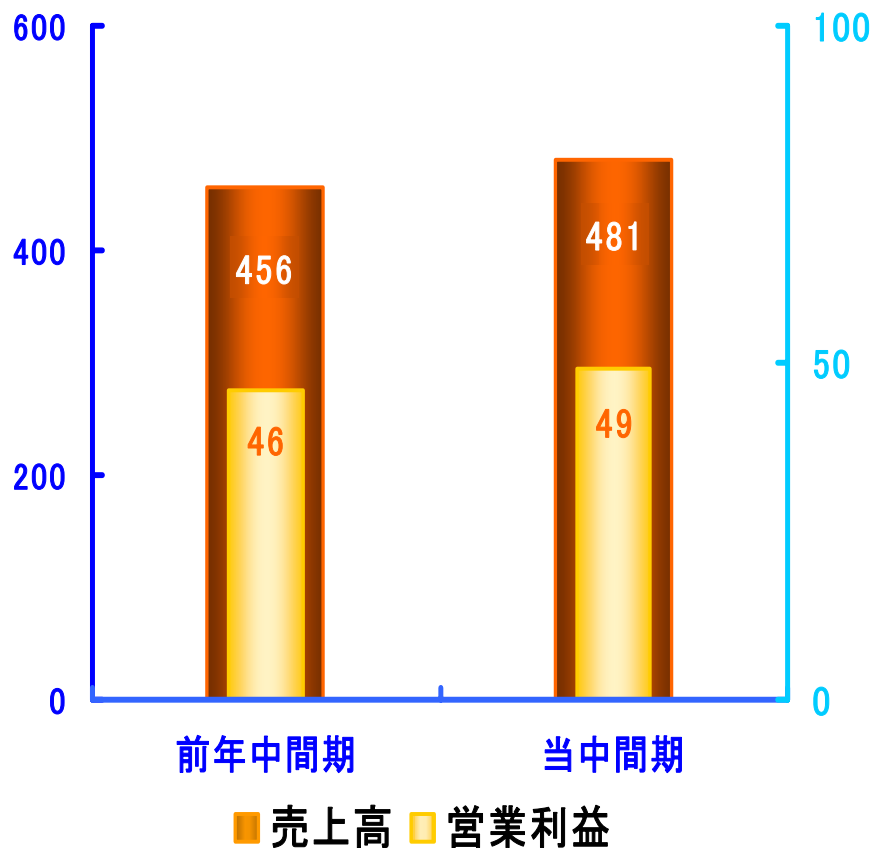
- ・酢酸セルロース +26億円  
価格是正、数量微増
- ・たばこフィルター用トウ +15億円  
輸出増(為替、価格是正)

## ☆営業利益

- ・2年に1度の定期修繕による操業度ダウン
- ・減価償却費増加  $\Delta 5$ 億円  
(うち減価償却制度変更  $\Delta 3$ 億円)

# 有機合成事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

- ・酢酸・酢酸誘導品等汎用品と有機機能品  
価格是正と数量増 +22億円
- ・CPI 受託分離、海外好調 +3億円

## ☆営業利益

- ・販売価格是正により増益
- ・減価償却費増加  $\Delta 8$ 億円  
(うち減価償却制度変更  $\Delta 5$ 億円)

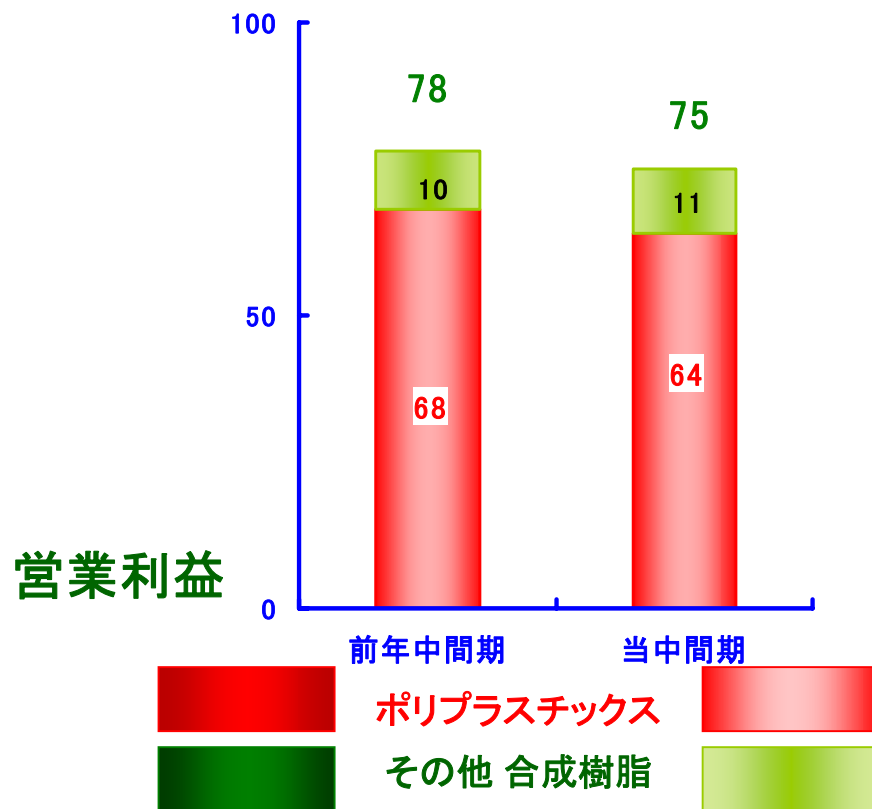
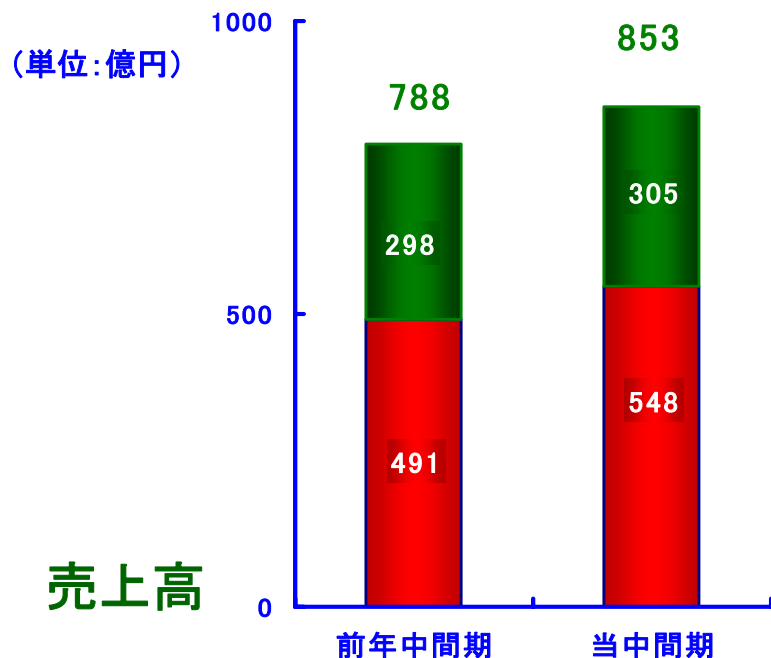
# 合成樹脂事業セグメント

## ☆売上高

- ・ポリプラスチックスGr +57億円  
中国PTM稼働率アップ、価格是正
- ・ダイセルポリマーGr +15億円
- ・樹脂成形加工等 △9億円

## ☆営業利益

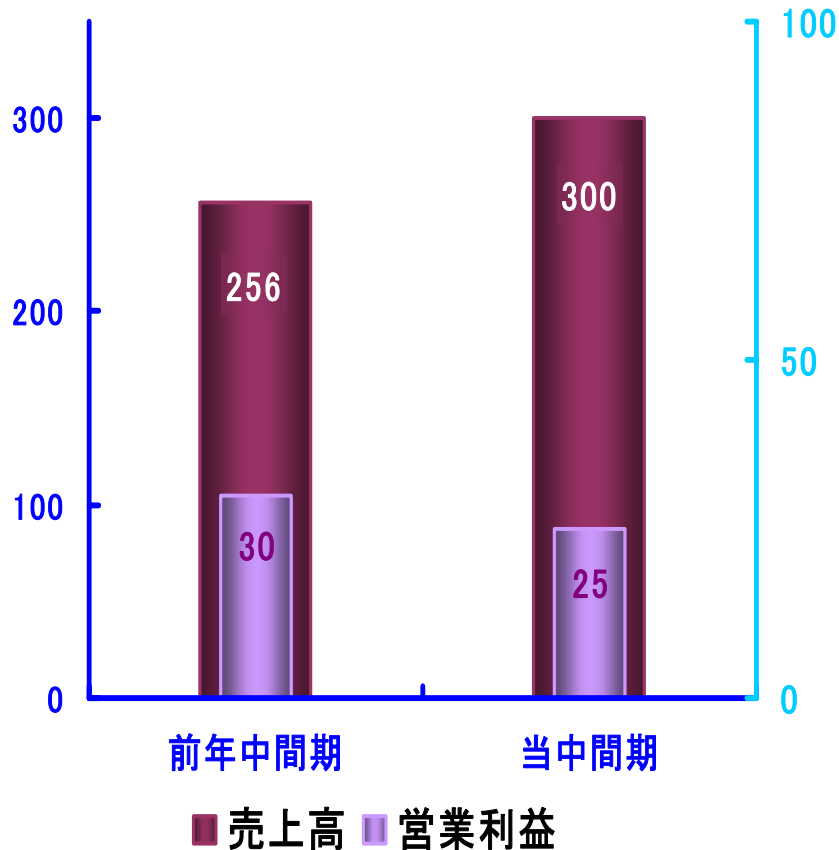
- ・ポリプラスチックスGr △3億円（価格是正不十分）
- ・ダイセルポリマーGr +4億円
- ・樹脂成形加工等 △4億円
- ・減価償却費減少 +1億円（うち償却制度変更 △1億円）





# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

### ・MSD事業

インフレーター販売数量増加

1,535万個 ⇒ 1,927万個 (+392万個)

### ・特機事業

緊急脱出装置関連の販売増

## ☆営業利益

### ・MSD事業

海外拠点立上げ及び増強による

固定費負担の増加等により減益

### ・減価償却費増加 $\Delta 3$ 億円

(減価償却制度変更  $\Delta 0$ 億円)

# 2008年3月期業績見通し

## 前提条件

		前上期実績		前下期実績		当上期実績		当下期計画	
為替レート		116円		118円		120円		115円	
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	1Q	\$350	3Q	\$535	1Q	\$330	3Q	\$280
		2Q	\$350	4Q	\$550	2Q	\$310	4Q	\$280
	原油(ドバイ)	\$66		\$59		\$67		\$70	
	国産ナフサ	51,000円		48,500円		58,900円		62,000円	

# 2008年3月期業績見通し

(単位:億円)

	前期実績	当期見通し	増減	増減率
売上高	3,814	4,150	+336	+8.8%
営業利益	364	365	+1	+0.3%
経常利益	347	340	△7	△2.1%
当期純利益	174	180	+6	3.2%
為替レート	117円	117円		

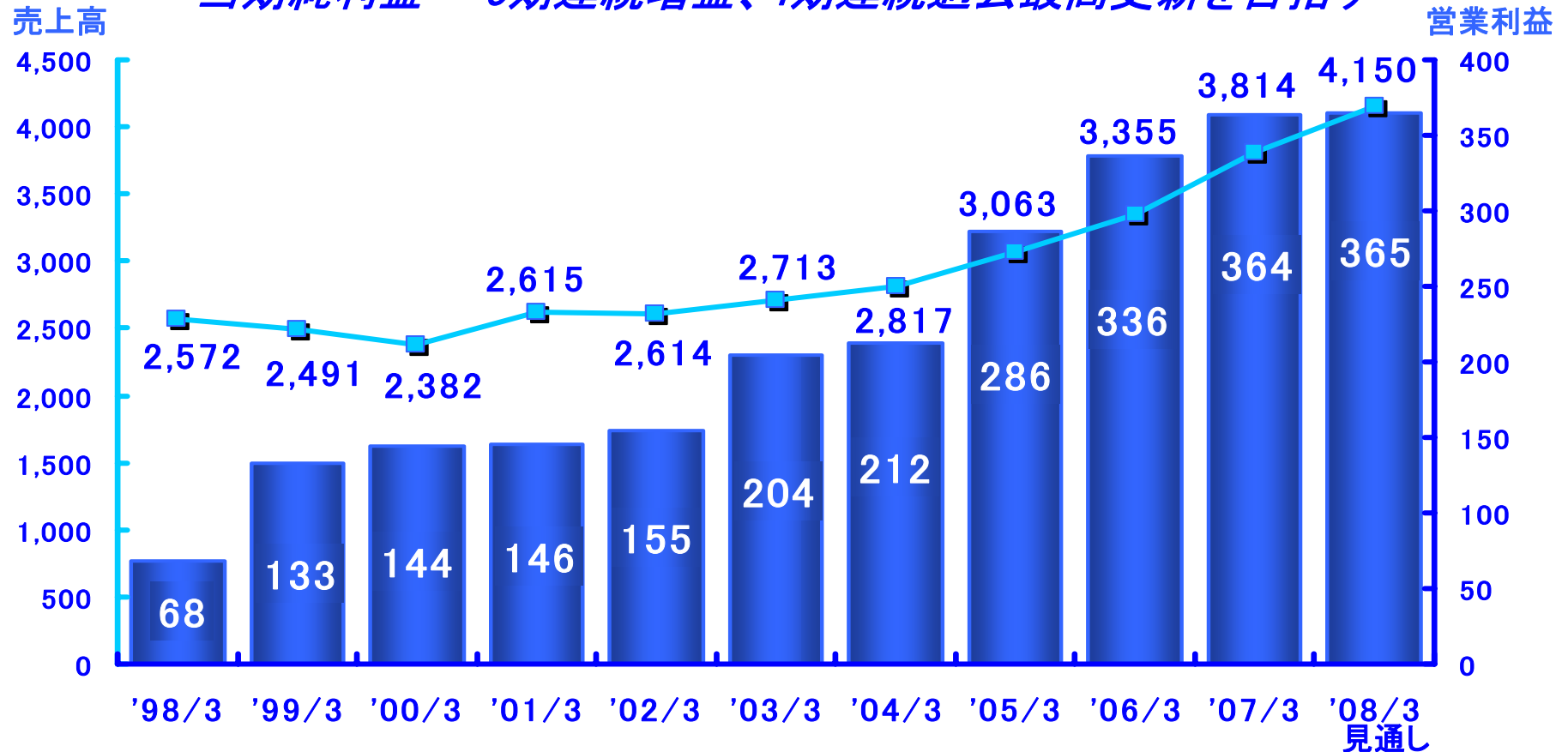
# 売上高・営業利益の推移と見通し

(単位:億円)

売上高 6期連続過去最高を更新の見通し

営業利益 10期連続増益、4期連続過去最高更新を目指す

当期純利益 5期連続増益、4期連続過去最高更新を目指す



# 売上高・営業利益分析

## 【売上高】

単位：億円

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	635	740	+105	+40	+65
有機合成	938	1,025	+87	+34	+53
合成樹脂	1,619	1,668	+49	△26	+75
火工品	555	647	+92	+103	△11
その他	67	70	+3	+3	-
合 計	3,814	4,150	+336	+153	+183

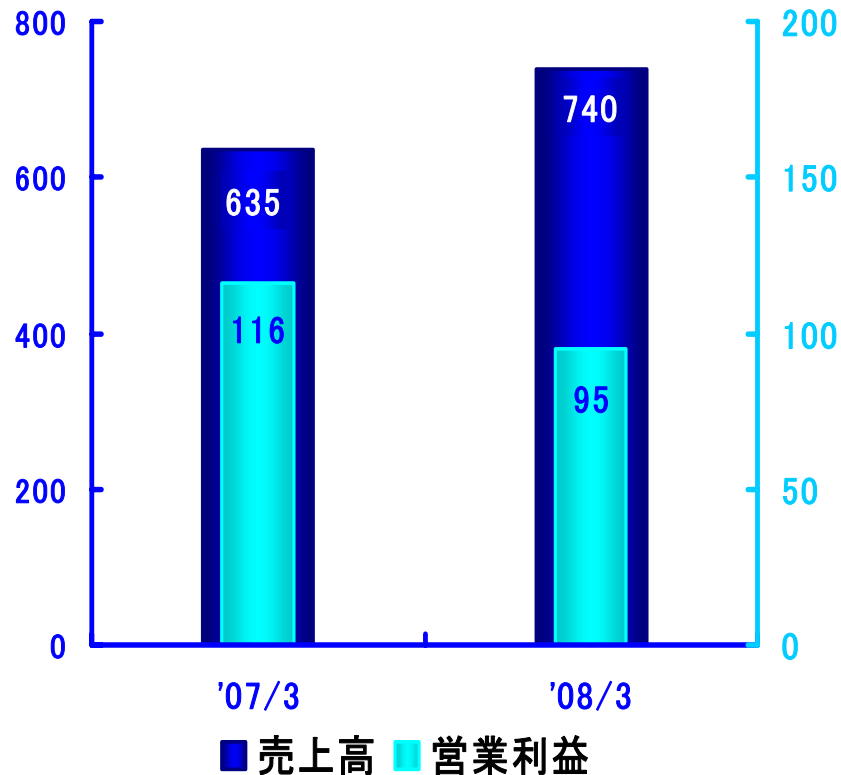
## 【営業利益】

単位：億円

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	116	95	△21	+14	+1	△36
有機合成	113	116	+3	△7	+28	△18
合成樹脂	148	167	+19	△13	+27	+5
火工品	60	60	△0	+45	△7	△38
その他	9	8	△1	△1	-	-
全 社	△83	△81	+2	-	-	+2
合 計	364	365	+1	+37	+48	△84

# セルロース事業セグメント

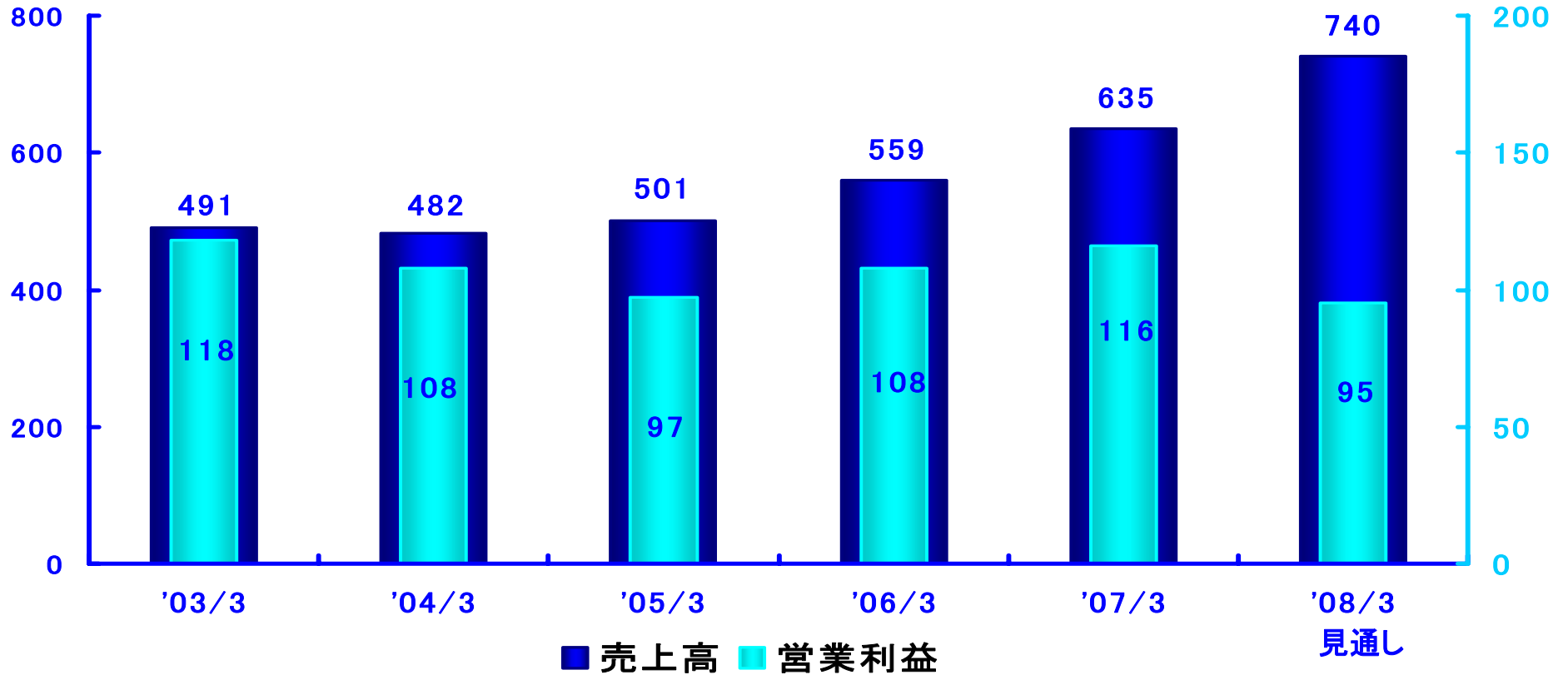
(単位:億円)



- 酢酸セルロース :  
LCDフィルム向けにTAC数量増、価格是正
- たばこフィルター用トウ:  
大竹新設備稼動による数量増
- 減価償却費増加  $\Delta 35$ 億円  
(うち減価償却制度変更  $\Delta 13$ 億円)

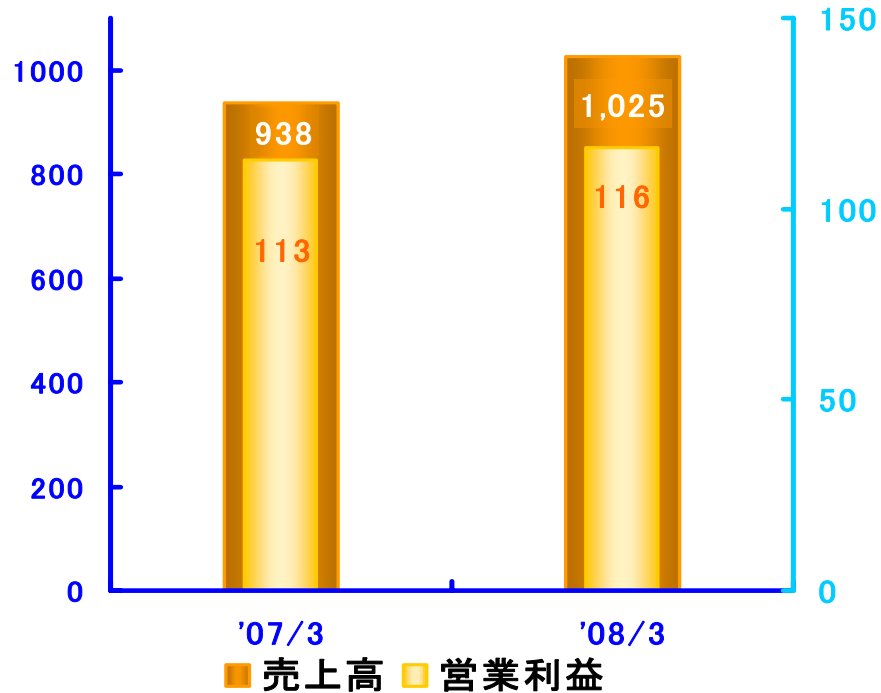
# セルロース事業セグメント

(単位:億円)



# 有機合成事業セグメント

(単位:億円)



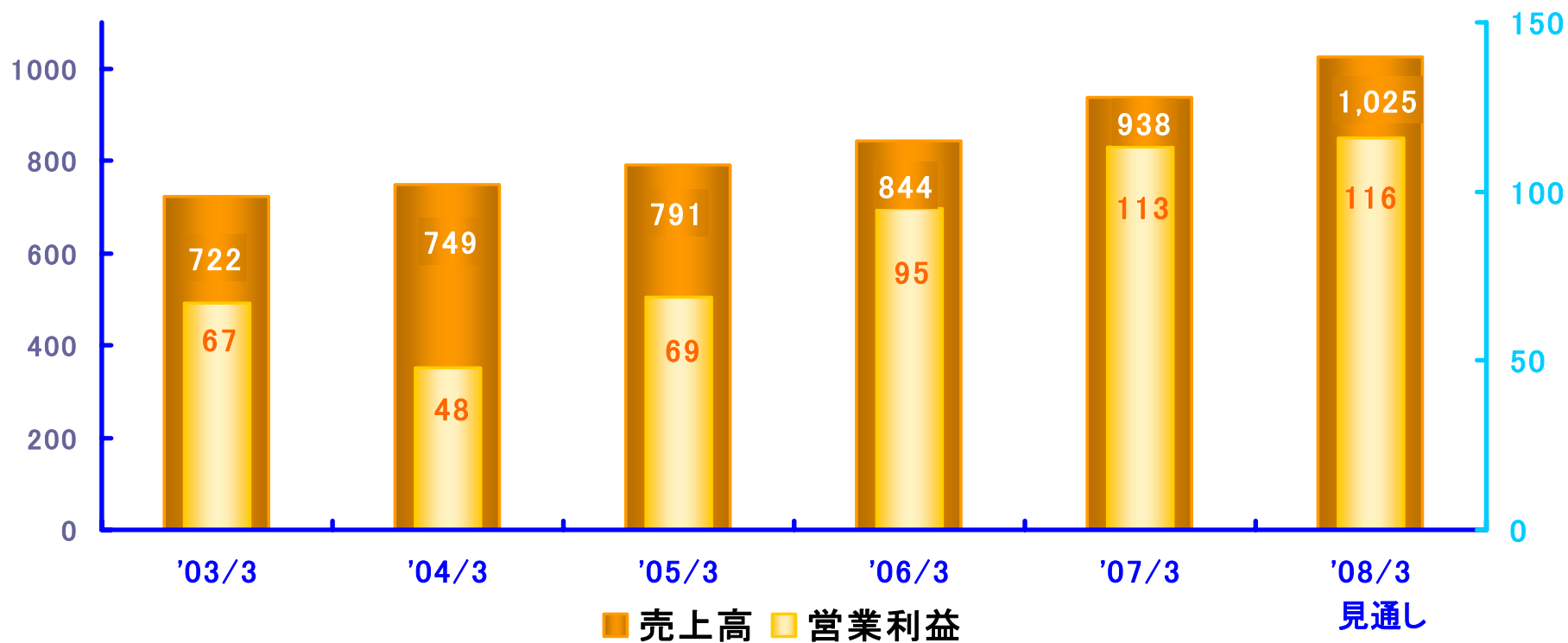
原燃料価格の高騰により、販売価格への  
転嫁に注力

減価償却費増加  $\Delta 18$ 億円  
(うち減価償却制度変更  $\Delta 13$ 億円)



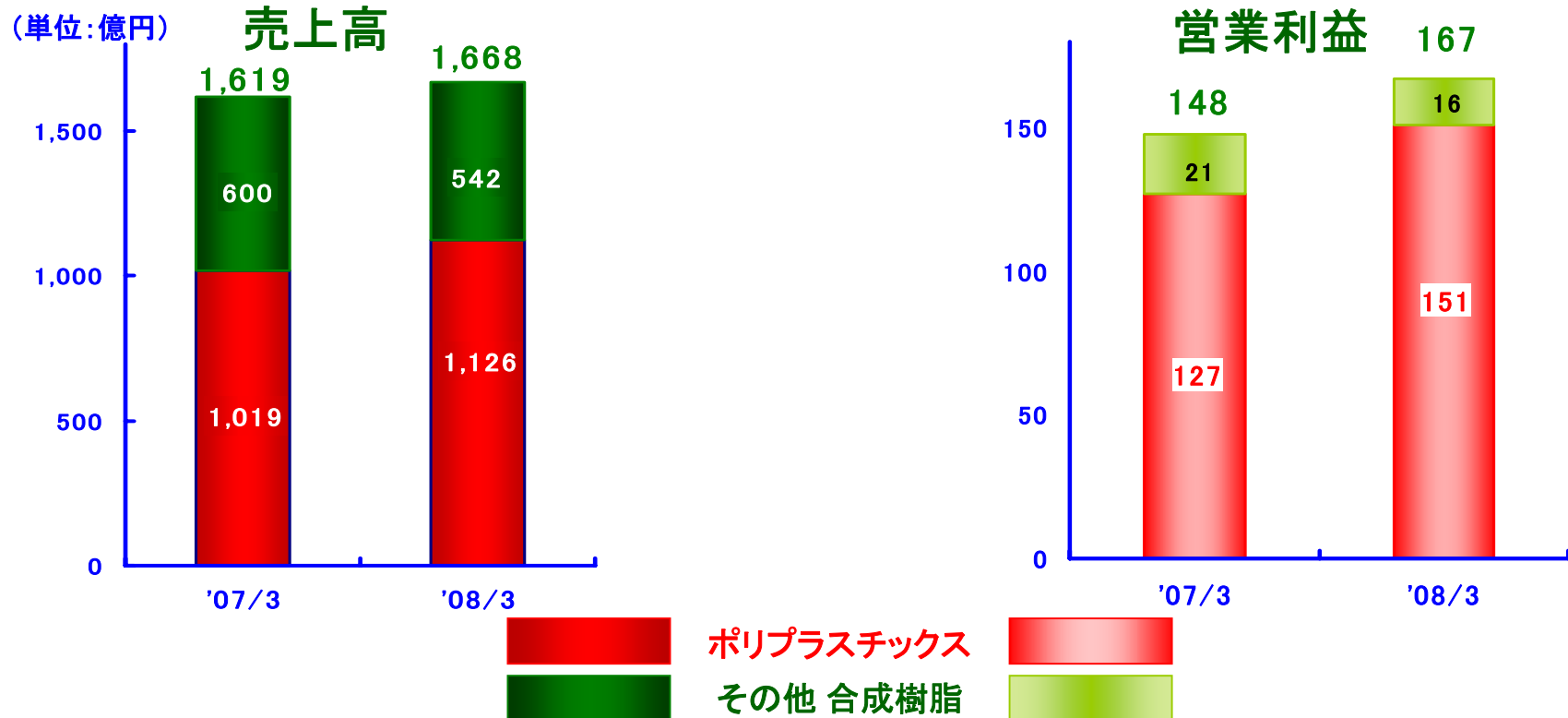
# 有機合成事業セグメント

(単位:億円)



# 合成樹脂事業セグメント

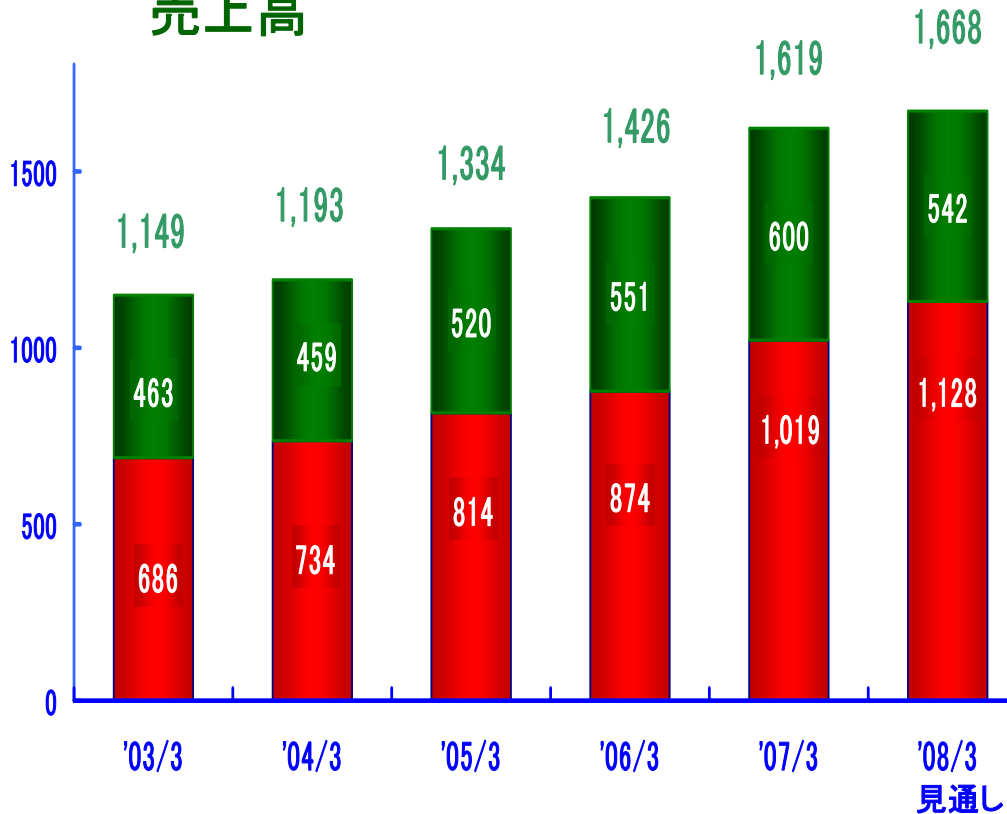
- ポリプラスチックス：  
中国POMプラントの稼働率アップによる数量増、LCP数量増、  
価格是正により、増収増益
- ダイセルポリマーGr.： 拡販と価格是正により増収増益
- ダイプラGr: 株式譲渡に伴い下期より連結除外
- 減価償却費減少 +9億円(うち減価償却制度変更 △3億円)



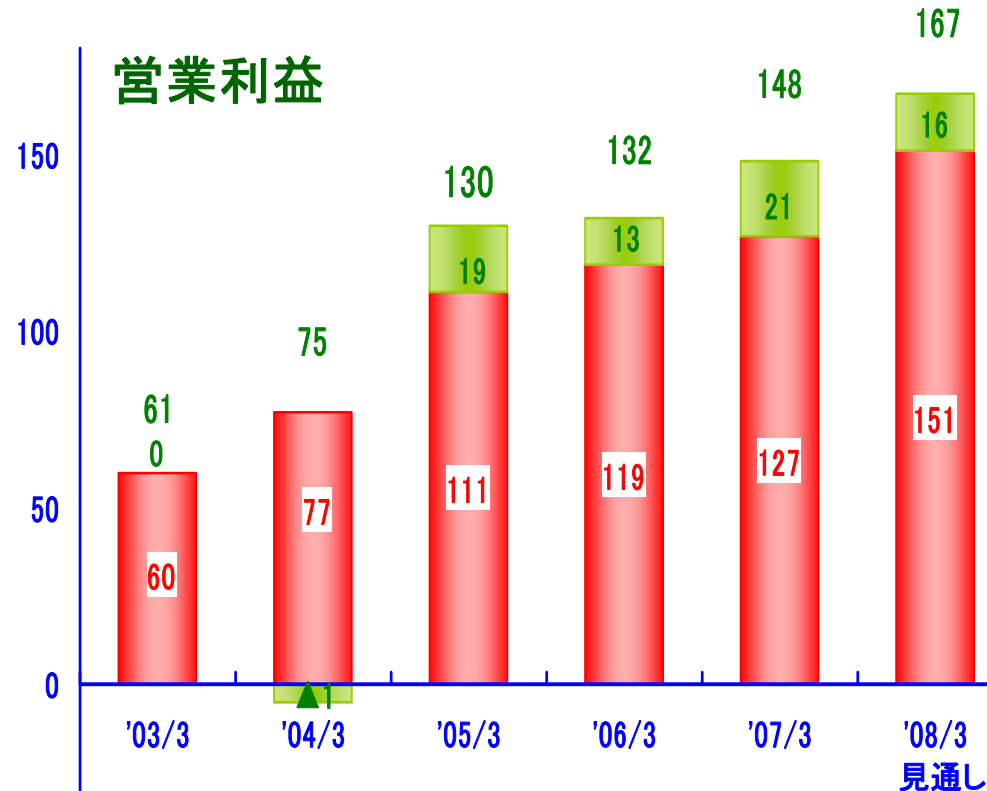
# 合成樹脂事業セグメント

(単位: 億円)

## 売上高

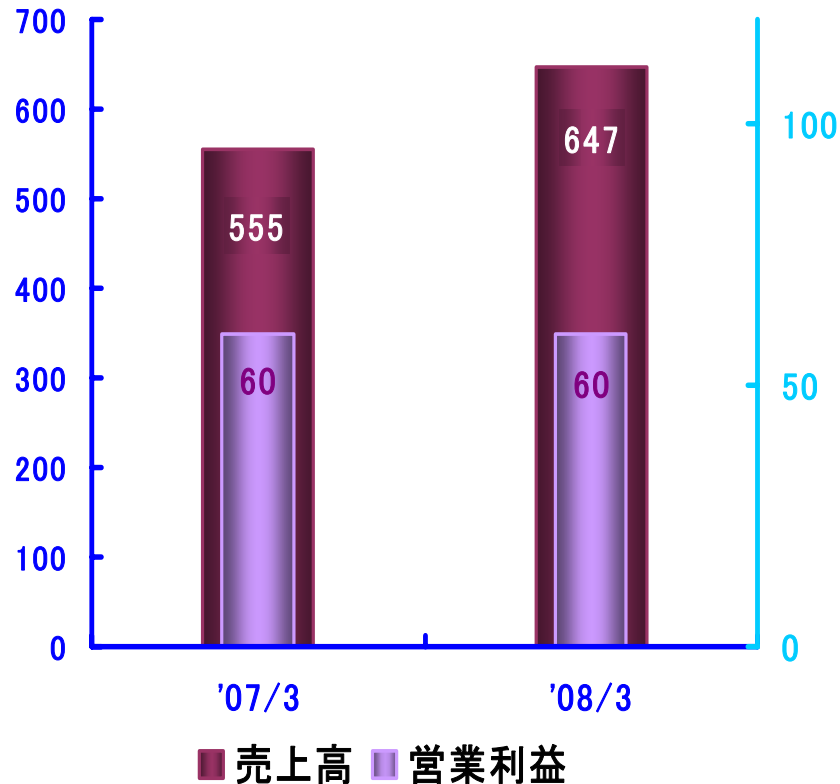


## 営業利益



# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



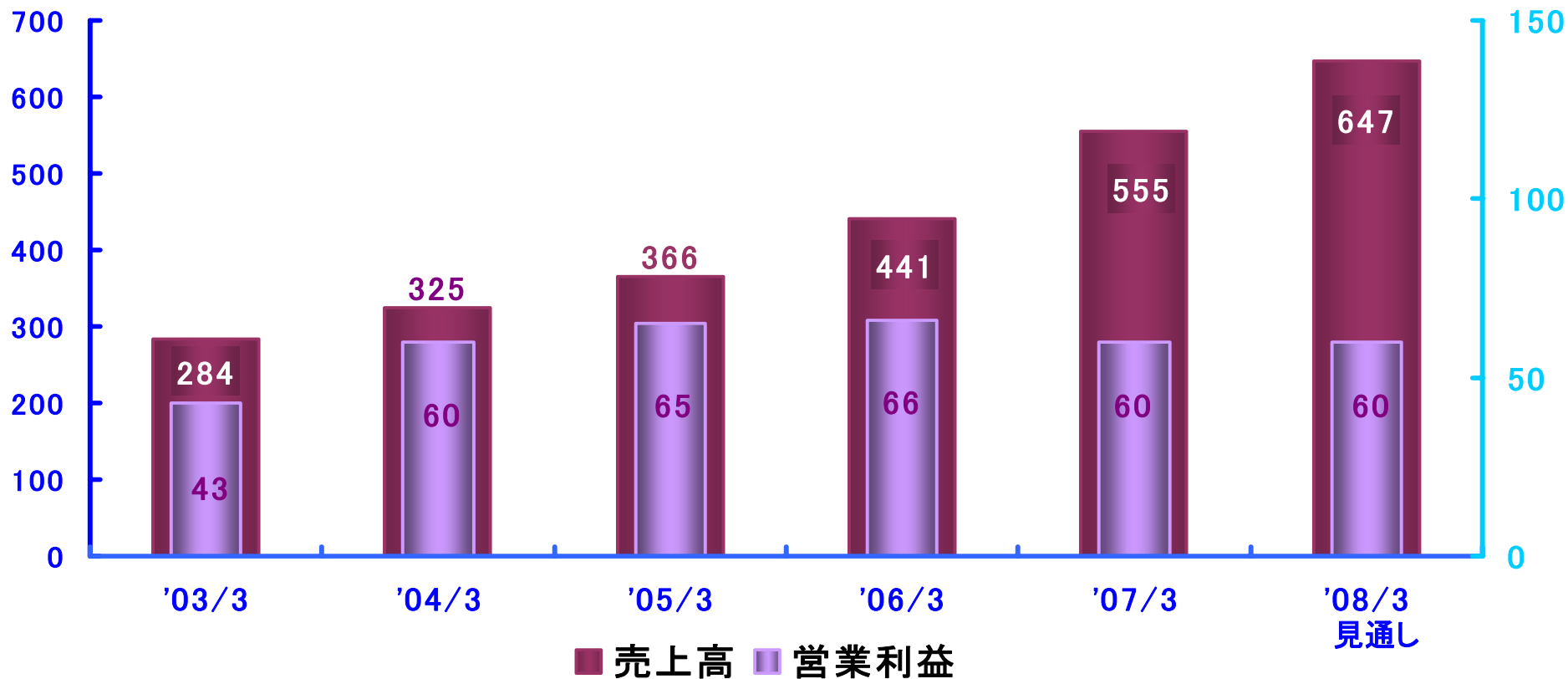
インフレータ販売数量増：  
2006年度 3,310万個  
→ 2007年度約4,300万個  
(+約1,000万個)

・MSD事業  
海外拠点立上げ及び増強による  
固定費負担が重く営業利益は  
前期並み

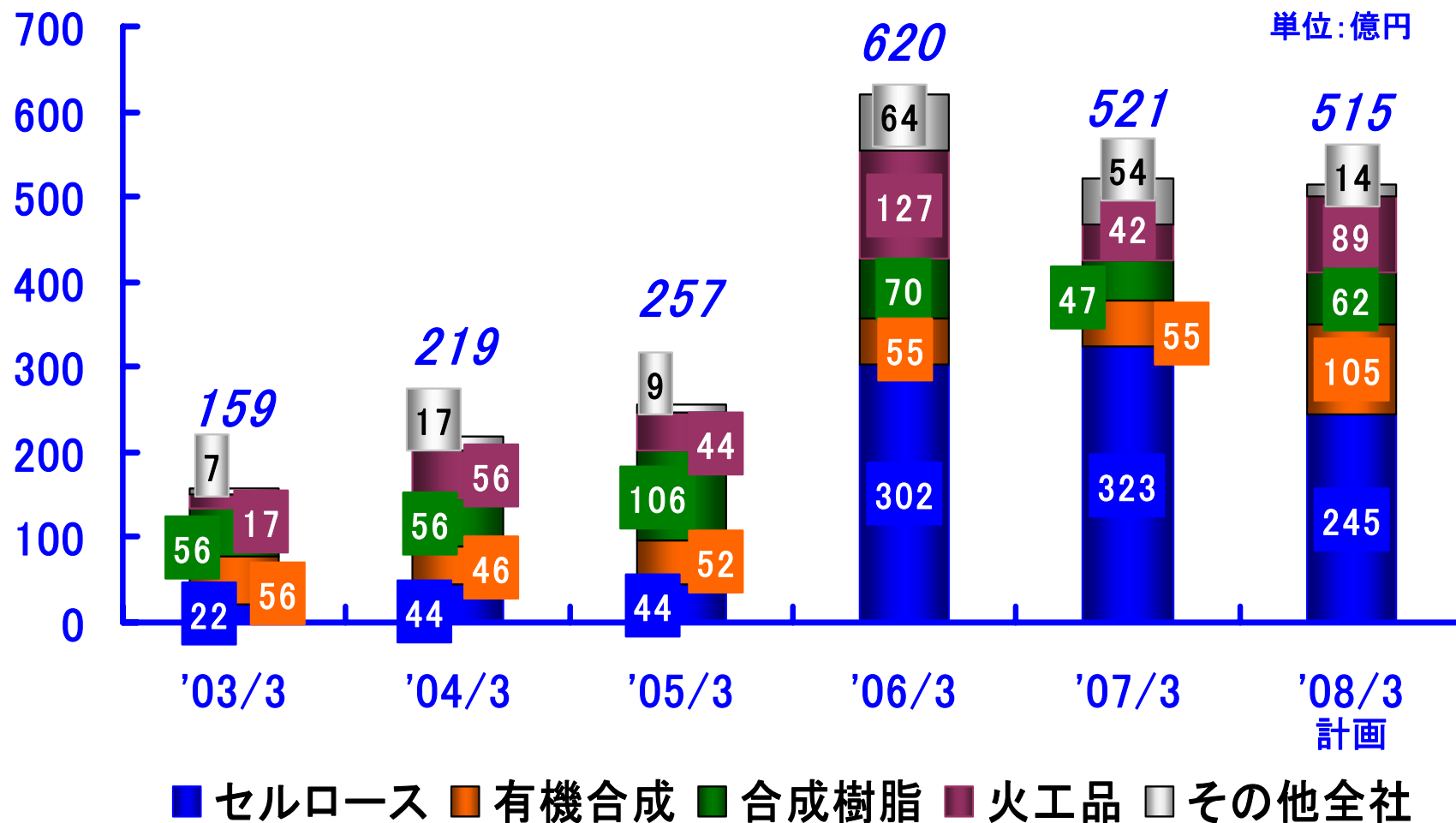
・減価償却費増加 △7億円  
(うち減価償却制度変更 △1億円)

# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



# 設備投資額推移



2008年3月期上期の設備投資額：277億円

# 主な設備投資計画(持分法会社分含む)

## ＜現在進捗中の投資案件を着実に進める＞

- セルロース事業

- タバコフィルター用アセテート・トウ事業の移転増強  
(大竹工場 2007/10稼動)

- 液晶表示用フィルム向け酢酸セルロース新設  
(大竹工場 2008/春稼動予定)

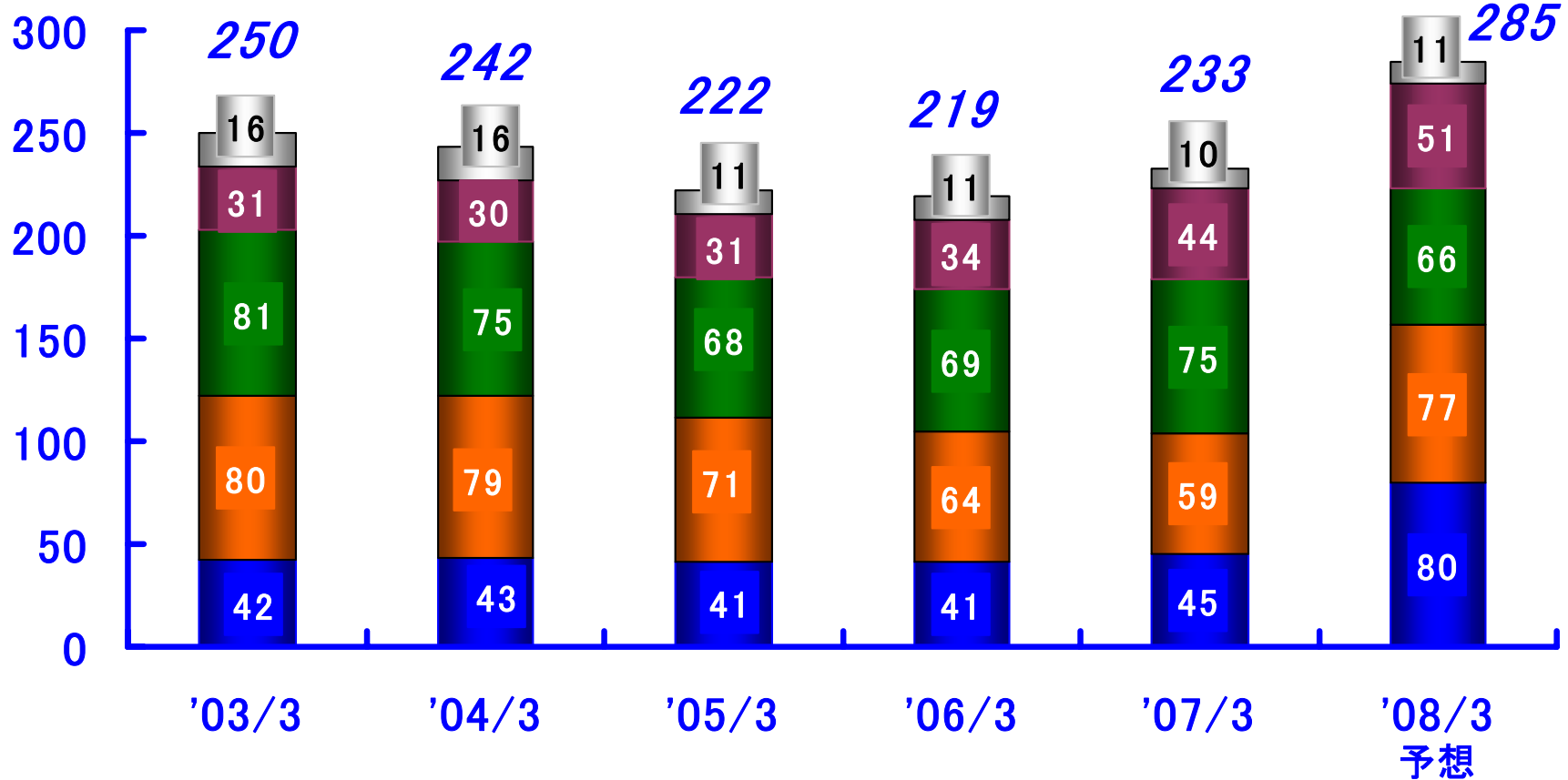
- 火工品事業

- インフレータ設備増強(国内および海外拠点)

2007年中に国内と海外が同規模の生産体制となり、来年以降、海外が国内を逆転する

# 減価償却費推移

単位: 億円



■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

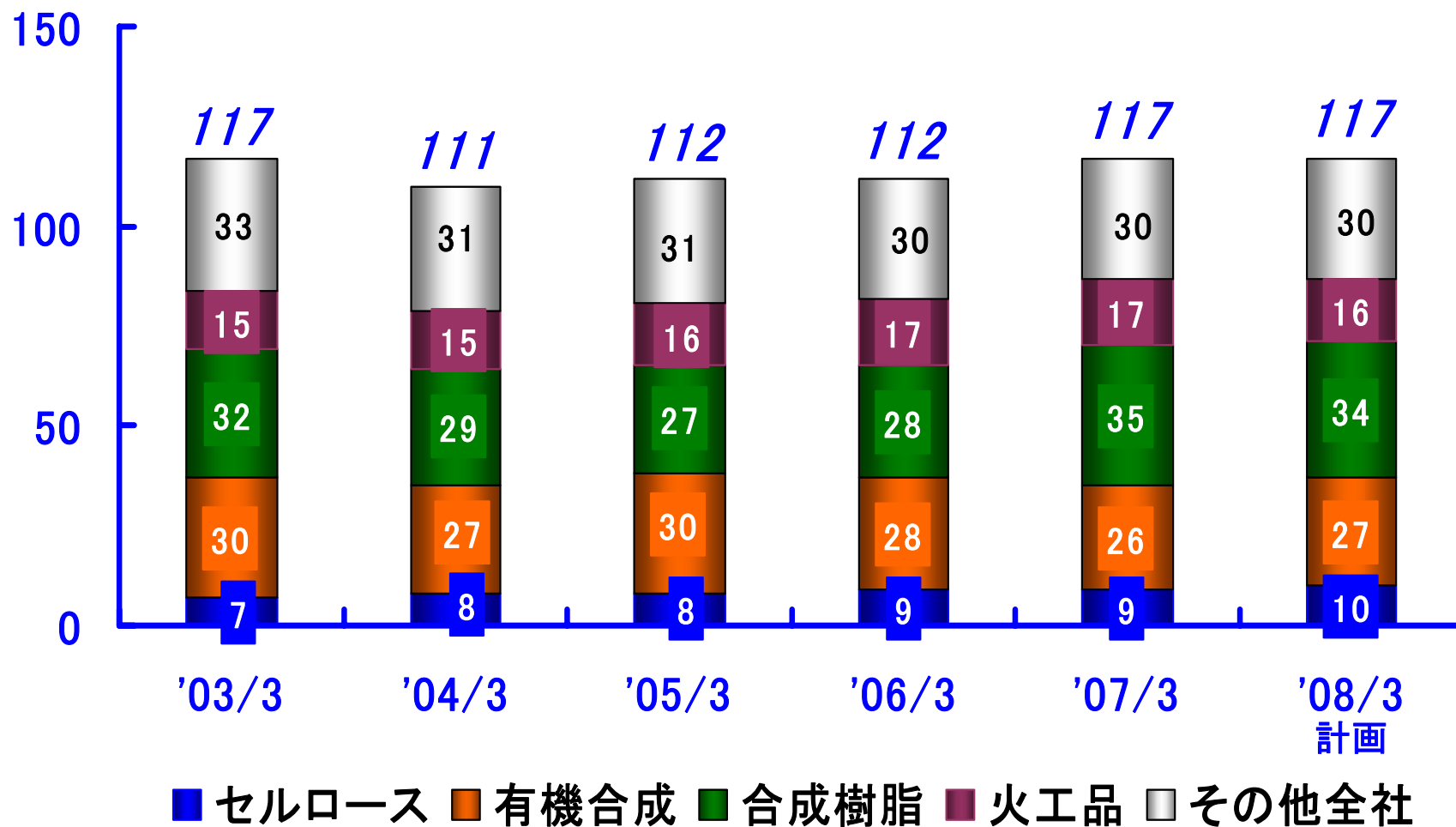
2008年3月期上期 減価償却費 : 126億円  
 2008年3月期 減価償却費(予想) : 285億円

内、減価償却制度変更の影響 30億円 (セルロース 13、有機合成 13、合成樹脂 3、火工品 1)



# 研究開発費推移

単位:億円



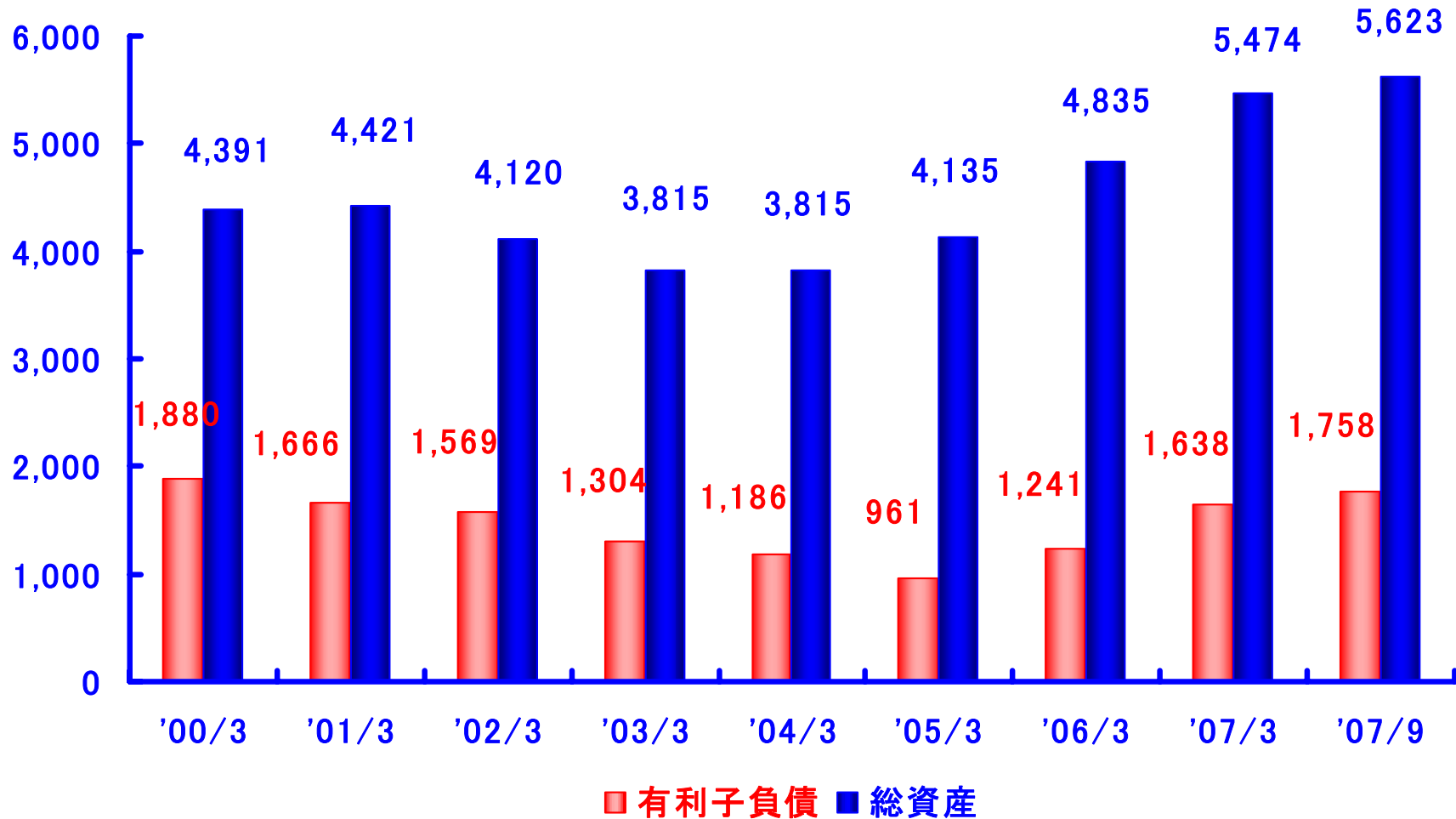
# 連結貸借対照表

単位: 億円

	2007年3月末	2007年9月末	増減	備 考
流動資産	2,067	2,183	+117	
現金及び預金	134	208	+74	
受取手形及び売掛金	984	961	△23	
棚卸資産	756	785	+28	
その他	192	229	+37	
固定資産	3,408	3,439	+32	
有形固定資産	2,255	2,337	+82	
無形固定資産	71	60	△11	
投資その他資産	1,082	1,043	△39	
資産合計	5,474	5,623	+148	
負債	3,050	3,097	+47	
有利子負債	1,638	1,758	+120	有利子負債比率 31.3%
その他	1,412	1,339	△74	
純資産	2,424	2,526	+102	
負債・資本/負債・純資産 合計	5,474	5,623	+148	

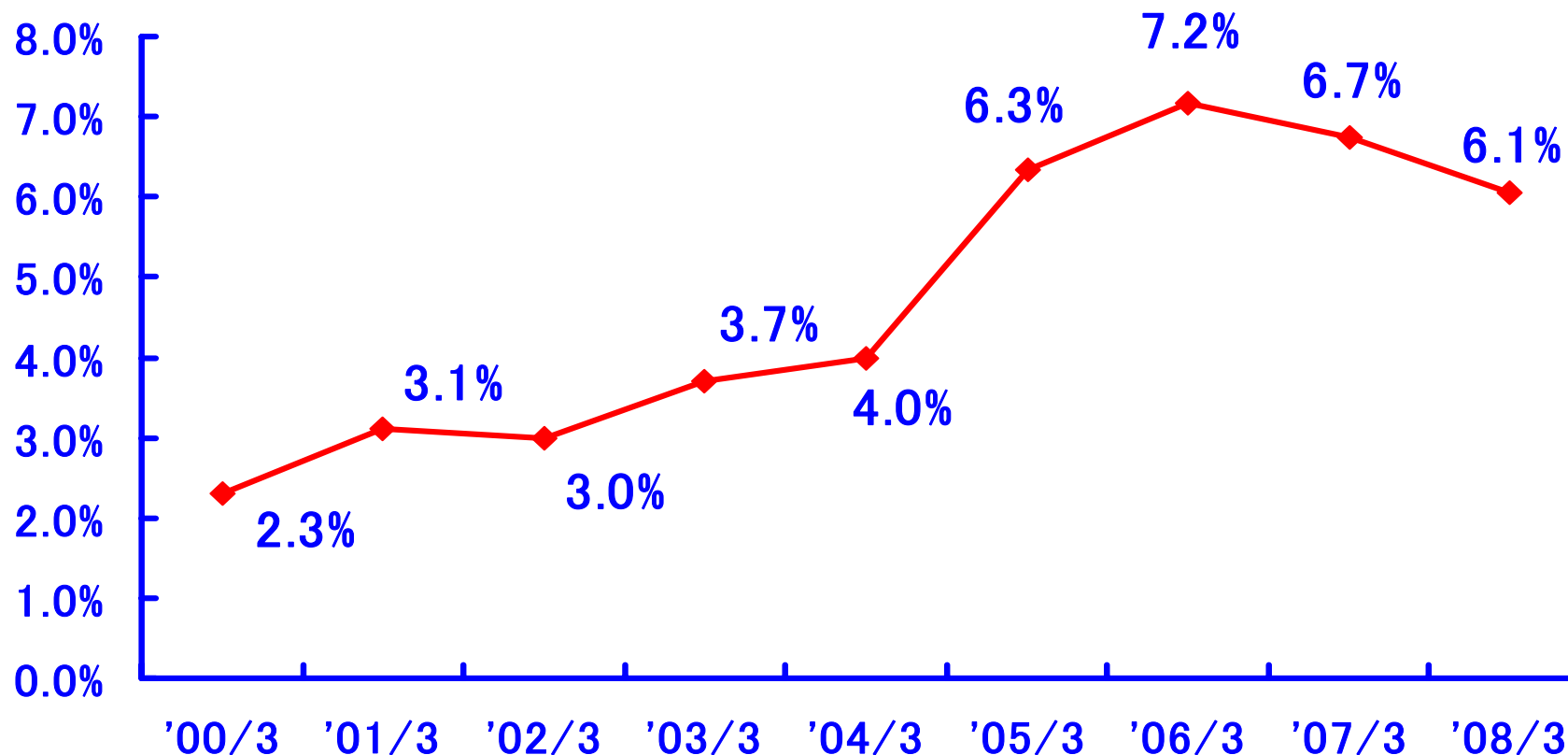
# 総資産・有利子負債推移

単位：億円



# ROA(総資産経常利益率)推移

中期目標:2009年度に9%を超える



# 中期計画について

(単位:億円)

	2007年度		2008年度	2009年度
	中期計画	業績予想	中期計画	中期計画
売上高	4,080	4,150	4,280	4,500
営業利益	370	365	445	550
経常利益	340	340	410	500
純利益	160	180	190	240

※中期計画前提条件

為替レート 110円/\$、メタノール \$280、原油(ドバイ) \$58、国産ナフサ 45,000円

減価償却費	240	255	350	330
制度変更による影響	30	30	70	60
減価償却費 合計	270	285	420	390

# 予測に関する注意事項

★本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

★ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。